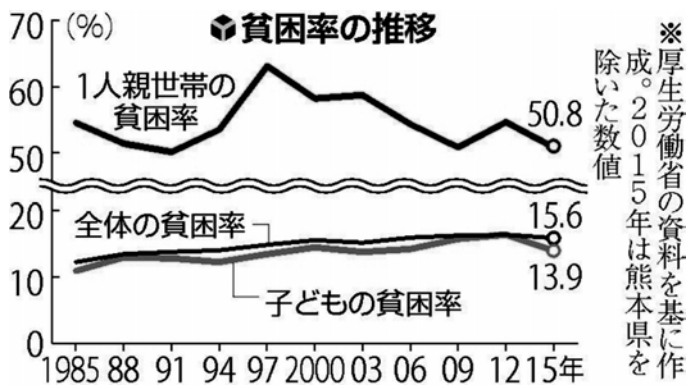


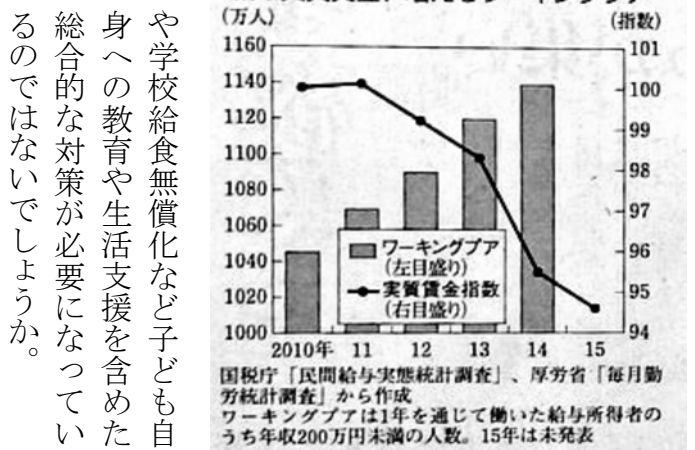
子どもの貧困問題

子どもの貧困率が13.9%に改善？ ひとり親世帯は50%…依然高水準



厚生労働省が発表した国民生活基礎調査によると2015年時点での子どもの貧困率は、13・9%（7人に1人）で過去最悪の前年から2・4ポイント下がり、12年ぶりの改善。また、ひとり親家庭の貧困率は半数に達しています。いずれの指標も主要先進国の中で高い水準であり、深刻な事態はやはり改善されていません。厚生省は「雇用状況が良くなり、子育て世帯の所得の増加が主要要因」と言っています。しかし安倍政権のもので年収200万円以下のワー

キングプアは増え続け、物価を反映させた実質賃金も下がり続けたことを考えると実態はより深刻なようです。非正規雇用で仕事を掛け持ちしている母親は多く、所得は増えても子どもの養育にかける時間が減っている人も少なくありません。ひとり親世帯に支給する児童扶養手当が昨年引き上げられましたが、対象は第2子以降で加算額も少額です。地方自治体・荒川区で何んができるのか？子育て世帯への支援とともに、給付型奨学金制度



荒川区における主な子どもの貧困対策…

荒川区子どもの貧困対策に取り組み始めたのが2009年自治総合研究所での「子どもの貧困・社会的排除」問題の研究からでした。区が示した、その後主な貧困対策は、以下の通りです。

- ①子ども家庭支援センター相談体制強化
- ②学習支援事業
- ③家庭相談事業
- ④タブレットPCを活用した学校教育の充実
- ⑤若年者就労支援の拡充
- ⑥養育支援訪問事業
- ⑦全小中学校で補充学習の実施(あらかわ寺子屋)
- ⑧地域力を活かした子どもの居場所づくり…など

この中で一番お金をかけてるのは、年額6億円かかるタブレットPCの活用事業です。しかし、これが子どもの貧困対策にどういった効果があったのか検証はなされていません。ほんとうに必要な対策は何か。義務教育での学校給食や学用品無償化など経済的給付や給付型奨学金はじめ直接子どもへの支援策の具体化が必要です。

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

No. 663

2017年7月16日
発行 日本共産党区議団
Tel 3802-4627
fax 3806-9246
メール arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
★町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
Tel 3895-0504
メール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。



「これからどうなるのか」など声もあって、東京都の第六建設事務所にも状況を聞きました。担当課長の話によると、地下に共同溝を作るため樹木の根が除去するしかない、3年後に完成するが植栽につ



つまり電線類の地中化のため歩道側にも「共同溝」の工事をしていくことを以前お伝えしました。ところでその工事に際して都電通りの歩道脇に植えてあった銀杏の数が本伐採されていました。私は、共同溝を作るので仕方ないかななど思っていました。しかし「近所の方から「緑がなくなると寂しい」

都電通りの電柱地中化と街路樹：必要な公共工事と景観・環境との調和を

まちの話あれこれ

裏面 永久水利による送水訓練、俳句のまち…など

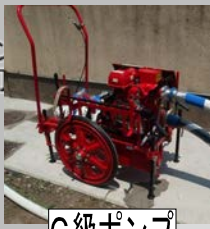
定例法律相談会
※8月の定例法律相談はお休みにします。
(お急ぎの方はご連絡下さい)

生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

5中での永久水利の運用は これからの防災防火を考える



会場の5中グラウンド



C級ポンプ



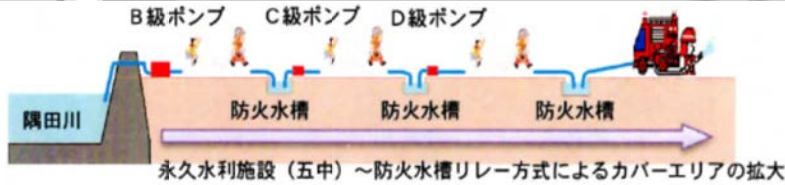
B級ポンプ



水利は、災害時に断水で消火栓が使えない場合でも河川や深井戸な

水利は、災害時に断水で消火栓が使えない場合でも河川や深井戸など枯渇しない水利の一環として整備されてきました。五中のように隅田川から取水するものや荒川公園などの深井戸があります。荒川区のように木造密集地域が多いところでは大地震などによる火災への対応が極めて重要です。今回は、隅田川の水を消防

水利で利用するため町会など参加



永久水利施設（五中）～防火水槽リレー方式によるカバーエリアの拡大



D級ポンプ

最終的には公園内の40t防火水槽に注水してそこから放水する



水道の耐震化は緊急!
やはり災害時の消火活動などの地域でも迅速に行うためには、水道管の耐震化を進めどこでも消火栓が使えるようにすべきです。これは、東京都の事業ですが、これこそ緊急性を持った公共事業ではないでしょうか。

堤防に二つの取水口がありホースの取り付けなどは比較的容易な感じはしました。消火水のリレーで使うD級ポンプ（1分間230リットル）は、町会や学校等にも配備され比較的扱いにも慣れている方もおられます。しかし最初のB級ポンプ（1分間500リットル）や次の段階のC級ポンプ（1分間350リットル）など最初のセッティングや操作は一定慣れないとできないように思いました。区や消防署職員、消防団員などのサポートで藍染公園まで送水することができました。やはり日常の訓練が必要で

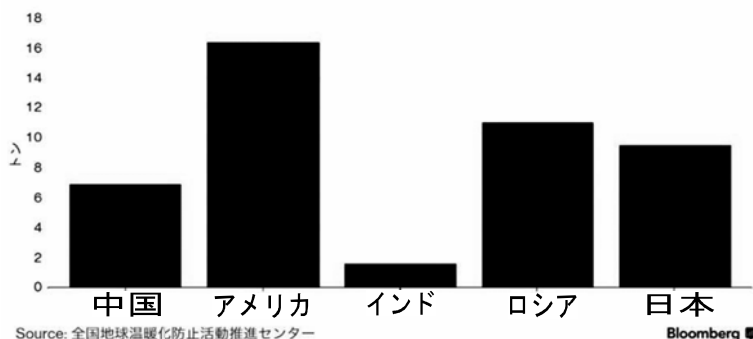
今週のデータ パリ協定から離脱のアメリカ 地球温暖化に背…世界で批判

二酸化炭素（CO₂）排出量の1位は中国ですが、一人当たり排出量となると、アメリカがダントツで1位です。そのアメリカの「パリ協定」離脱表明は、アメリカへのきびしい批判を呼んでいます。温暖化は、人類のみならず地球のすべての生態系の差し迫った驚異といっても過言ではありません。

最近「○○ファースト」がはやりですが、結局自分勝手ということに通じるのではないのでしょうか。

米国は1人当たり排出量で中国を上回る

■二酸化炭素の排出量上位5カ国（2014年）



Source: 全国地球温暖化防止活動推進センター

Bloomberg

「俳句のまち荒川宣言」と取り組みは 芭蕉だけでなく一茶、子規、山頭火…

荒川区は、「俳句のまち あらかわ」を宣言し、様々な事業を行ってきました。区内には、少なくとも区民の皆さんがこれまでも俳句のサークルや句会を行ってきました。やはりより多くの区民の皆さん俳句に触れる機会を広げ、自主的な取り組みを応援することが区の仕事だと思えます。

同時に、宣言文の中には「芭蕉の想いと四季折々の美しさに導かれ 子規が 一茶が 山頭火が この地で俳句を詠みましました」とあります。この間、芭蕉の「銅像」を建てたり取り組みの中心は芭蕉でした。しかし、一茶、子規、山頭

火などこの地で句を詠んだ俳人についてはあまり取り上げることがありませんでした。俳句愛好家の中でも好きな俳人はそれぞれです。また、俳句でなく短歌や他の詩作を好む人もいます。文化というものは奥深いもので、ぜひ俳句でも様々な角度で取り組んでほしいとおもうのですが。

